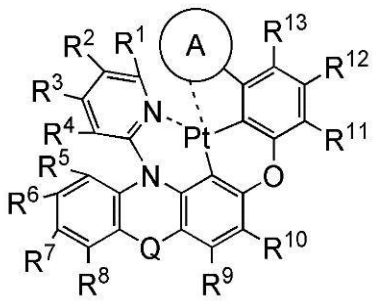
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【公開番号】特開2016-210772(P2016-210772A)
【公開日】平成28年12月15日(2016.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2016-068
【出願番号】特願2016-91106(P2016-91106)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｆ　15/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/06　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 417/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/76　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 209/86　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 487/04　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 471/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｆ　15/00　ＣＳＰＦ
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ｂ
Ｈ０５Ｂ　33/22　Ｂ
Ｃ０９Ｋ　11/06　６６０
Ｃ０９Ｋ　11/06　６９０
Ｃ０７Ｄ 417/14
Ｃ０７Ｄ 333/76
Ｃ０７Ｄ 209/86
Ｃ０７Ｄ 401/14
Ｃ０７Ｄ 487/04　１３７
Ｃ０７Ｄ 471/04　１１２Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月23日(2019.4.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（Ｇ１）で表される有機金属錯体。
【化１】



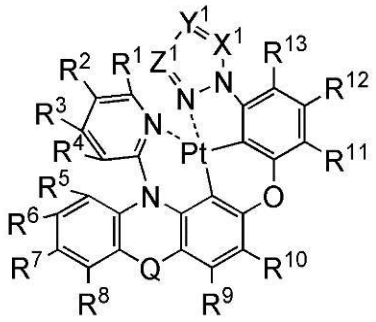
(G1)

（但し、式（Ｇ１）において、Ｒ[1]乃至Ｒ[13]はそれぞれ独立に、水素、置換又は無置換の炭素数１乃至６のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基のいずれかを表す。Ａは五員複素芳香環骨格を表し、当該骨格中に２又は３の窒素原子を含む。また、Ｑは硫黄原子又は酸素原子を表す。）

【請求項２】

下記式（Ｇ２）で表される有機金属錯体。

【化２】



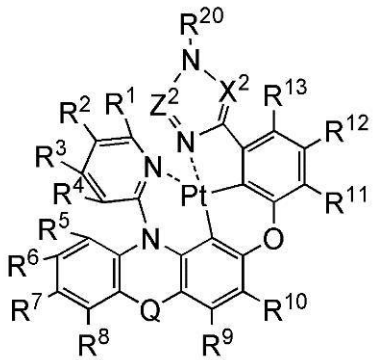
(G2)

（但し、式（Ｇ２）において、Ｒ[1]乃至Ｒ[13]はそれぞれ独立に、水素、置換又は無置換の炭素数１乃至６のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基のいずれかを表す。また、Ｘ[1]、Ｙ[1]及びＺ[1]のうち２又は３が炭素原子であり、当該炭素原子は置換基を有していても有していなくても良く、Ｘ[1]、Ｙ[1]及びＺ[1]のうち２が炭素原子であるとき、Ｘ[1]、Ｙ[1]及びＺ[1]のうち１が窒素原子である。また、Ｑは硫黄原子又は酸素原子を表す。）

【請求項３】

下記式（Ｇ３）で表される有機金属錯体。

【化３】



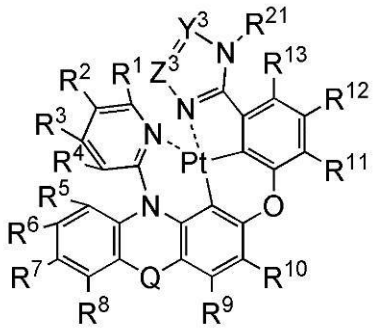
(G3)

（但し、式（Ｇ３）において、Ｒ[1]乃至Ｒ[13]及びＲ[20]はそれぞれ独立に、水素、置換又は無置換の炭素数１乃至６のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基のいずれかを表す。また、Ｘ[2]及びＺ[2]の一方が炭素原子を表し、他方が炭素原子または窒素原子を表す。当該炭素原子は置換基を有していても有していなくても良い。また、Ｑは硫黄原子又は酸素原子を表す。）

【請求項４】

下記式（Ｇ４）で表される有機金属錯体。

【化４】



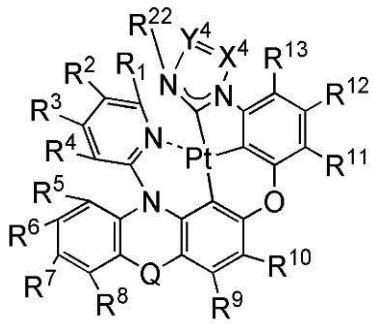
(G4)

（但し、式（Ｇ４）において、Ｒ[1]乃至Ｒ[13]及びＲ[21]はそれぞれ独立に、水素、置換又は無置換の炭素数１乃至６のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基のいずれかを表す。また、Ｙ[3]及びＺ[3]の一方が炭素原子を表し、他方が炭素原子または窒素原子を表す。当該炭素原子は置換基を有していてもいなくても良い。また、Ｑは硫黄原子又は酸素原子を表す。）

【請求項５】

下記式（Ｇ５）で表される有機金属錯体。

【化５】



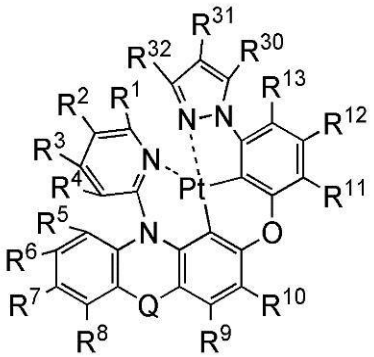
(G5)

（但し、式（Ｇ５）において、Ｒ[1]乃至Ｒ[13]及びＲ[22]はそれぞれ独立に、水素、置換又は無置換の炭素数１乃至６のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基のいずれかを表す。また、Ｘ[4]及びＹ[4]の一方が炭素原子を表し、他方が炭素原子または窒素原子を表す。当該炭素原子は置換基を有していてもいなくても良い。また、Ｑは硫黄原子又は酸素原子を表す。）

【請求項６】

下記式（Ｇ６）で表される有機金属錯体。

【化６】



(G6)

（但し、式（Ｇ６）において、Ｒ[1]乃至Ｒ[13]及びＲ[30]乃至Ｒ[32]はそれぞれ独立に、水素、置換又は無置換の炭素数１乃至６のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基の

いずれかを表す。また、Ｑは硫黄原子又は酸素原子を表す。）
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項に記載の有機金属錯体を用いた発光素子。
【請求項８】
請求項７に記載の発光素子と、トランジスタ、または、基板と、を有する発光装置。
【請求項９】
請求項８に記載の発光装置と、センサ、操作ボタン、スピーカ、または、マイクと、を有する電子機器。
【請求項１０】
請求項８に記載の発光装置と、筐体と、を有する照明装置。